

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴調査会記録

平成 30 年 7 月 27 日(金)

8 : 55 ~ 12 : 27

議 会 第 1 委 員 会 室

【出席者】小川委員長、川上副委員長、
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、
田畑委員、澁谷委員

【業 者】叶松（柏村印刷株式会社）

【事務局】篠原次長、近重書記

議題

1 井戸端会の開催について……………資料1

(1) 名称について

(2) 開催時期、会場及び担当班について

(3) テーマ及び進行方法について

ア 冒頭 9月議会決算審査について（10分）

イ カフェ方式による意見交換（80分）

2 はまだ議会だよりVol. 50の編集について……………資料2

(1) はまだ議会だよりへ掲載する議会報告会の回答事項の選定について

(2) 掲載内容及びレイアウト編集について

ページ	担当委員	主な掲載項目
1～4	三浦委員、田畑委員	表紙、見出し、可決事業、委員会報告
5～8	西川委員、澁谷委員	賛否の公開、討論、個人一般質問
9～12	沖田委員、芦谷委員	個人一般質問
12～16	村武委員、笹田委員	9月定例会日程、議会報告会、あとがき

3 その他

次回会議 開催予定日：平成30年9月6日（木）個人一般質問終了後

【議事の経過】

〔 8時 55分 開議 〕

小川委員長	広報広聴調査会を開催します。非常に暑い中、早朝にお集まりいただきありがとうございます。出来れば今日の午前中には終わりたいということで、早い時間に設定させていただきました。 井戸端会と議会だより50号の編集についてですが、1時間ごとに休憩を取りながら進めていきたいと思いますので、皆様のご協力で何とか12時までに終われるようにやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。 早速議題に入ります。
小川委員長 笹田委員	秋に開催する井戸端会の開催について、検討をお願いします。 委員長、業者さんもおられますので議会だよりについてを先にしませんか。
近重書記 笹田委員	ここを決めて、日程が議会だよりの原稿に入るの。 日程だけ。
小川委員長 笹田委員	日程を決めないと、原稿の最後に入ってくるの。 そんなもの後でお知らせすれば済むことでしょう。
小川委員長 笹田委員	そうしますか。 だって可哀想でしょう、これだけのためにここに居てもらうのも。日にちは知らせれば終わる話なので。
小川委員長	ではそうしましょうか。議題の1と2を入れ替えて、50号の編集から先に入ってよろしいですか。 (「はい」という声あり)

2. はまだ議会だよりVol. 50の編集について

(1) はまだ議会だよりへ掲載する議会報告会の回答事項の選定について

小川委員長	既にご覧になった方もおられるかもしれませんが、一番出来ていないページとして白紙ページが2ページほどあります。15、16ページ。そこに、春の議会報告会で出された要望・意見、それに対する執行部側の回答を載せるよう企画しています。先日、執行部からの回答が出ました。それも目を通された方はおられると思います。13項目ほど回答を求めたい項目を載せたのですが、項目によってはかなり詳しく回答されているものもあり、2ページに収めるのは困難となっています。コンパクトにまとめる作業になります。13項目の回答を全部載せるか、ある程度絞って載せるべきか、委員からご意見があればいただきたいと思います。
-------	--

近重書記	昨年度掲載したものは、こちらが質疑回答を載せ、次のページに参加者と画像を載せるというレイアウトでした。一言一句抜かずに回答等については、ホームページに改めて載せる形を取っています。
小川委員長	それで大体8項目くらいですか。
近重書記	そうですね、9項目くらいです。
澁谷委員	基本的に載せられる分は載せて、載せられなかったものは……。
近重書記	詳しくはホームページをご覧ください、という。
澁谷委員	うん、簡略化して載せるのが。原案がでてないから正副委員長に一任するしかないだろう。それか、項目を選びますか。でも選んで13なのだろう。
小川委員長	選んでというか、2つを1つにしたりして出来る限り……ここは正副で相談しながら13項目に絞ったのですが。それに対して執行部側から回答が来ました。ここはホームページをご覧いただいて、議会だよりには載せなくても良いのではないかと、というのが13項目の中にあれば削って……。
澁谷委員	正副委員長が選んだのだから、簡略化して。4、5行の回答なら良いが10数行のものがあります。
小川委員長	13項目を2ページに収めるとしたら4、5行でも……文字だけでなく写真等も入れたいということになれば、これだけのボリュームがあると入りそうにないなと。短くする努力はしてみたのですが、それでもまだ足りないで、項目自体を減らすか、意見・要望の内容も要点だけにするかしないかと、と考えている途中です。執行部の回答をコンパクトにする作業くらいなら出来ますが、根本的な部分です。もっと絞った方が良いかなという気持ちがあったので、皆さんからのご意見があれば。
澁谷委員	文字の大きさが8ポイント以下だと読めないような字になりますしね。
小川委員長	そうなっては不味いです。
川上副委員長	どうしましょう。
澁谷委員	任せられても困るの。
川上副委員長	それは良いのだけど。13項目の質問も回答も短くして載せるとか。
澁谷委員	昨年度のように、片方のページは写真ばかりという必要は全く無いと思います。2枚くらいあれば。
小川委員長	そうですね。
川上副委員長	14に入れて15の途中までいって、最後を15ページに載せる。
澁谷委員	あとは委員長と事務局とでやってよ。
小川委員長	それで良いですか。
	（ 「はい」という声あり ）
	13項目を減らすかもしれないし、回答ももう少しコンパクトにしないと

	入れられないし。
笹田委員	回答など末文だけで良いのではないですか。これなんてびっくりしました。
小川委員長	一般質問の回答みたいになっていますよね。
笹田委員	末文だけで良いですよ、途中は言い訳しか書いてないし。
澁谷委員	長いものほど言い訳になっている場合が多いので。出来ない理由が書いてあったり。
笹田委員	回答は2、3行で揃いますよ。
小川委員長	それなら13項目あっても大丈夫ですかね。
笹田委員	住民の質問をなるべく載せてあげた方が良いから。委員長が絞ってこれを作られたのなら載せてあげて、回答を分かりやすくしてあげたら良いのではないですか。検討するものは「検討します」の一言で良いと思います。質問は折角、正副委員長のお二人が知恵を絞られたのだから。
小川委員長	ではそういうことで、こちらにお任せいただいて。作りました案については、出来ればまた皆さんにお見せしたいと思います。
近重書記	一部抜粋等と入れて、詳しくはホームページを、ということですね。 (「はい」という声あり)
小川委員長	では(1)についてはそういう形でこちらにお任せいただいて、作業を進めたいと思います。

(2) 掲載内容及びレイアウト編集について

小川委員長	ページ数それぞれは委員さんに担当してもらって、検討していただく形です。もしまだ目を通されていないなら、何分か時間を取って見ていただき、いつものように順番で検討していきたいと思いますが、いかがですか。少し時間を取った方が良いですか。 (「時間をください」という声あり) では9時20分を目途に15分ほど、ざっと見て誤字脱字、表現方法等を含めてチェックしてもらいます。 《 以下、編集作業 1 ページずつ全員で確認 》
-------	---

1. 井戸端会の開催について

- (1) 名称について
- (2) 開催時期、会場及び担当班について
- (3) テーマ及び進行方法について

ア 冒頭 9月議会決算審査について (10分)

イ カフェ方式による意見交換（80分）

小川委員長	議題1について。まず名称についてはどのようにしましょうか。いままでも名称については色々検討されて、変わった名称等もありましたが。
澁谷委員	秋は報告より井戸端会がメインですね。
小川委員長	正副で話した限りでは、一応決算認定がメインになりますので、それを簡単に10分程度でやるとすれば、議会報告もありはするけど、メインが井戸端会なので、名称は井戸端会でも良いのではないかと。
笹田委員	決算なんてやっていましたか。
田畑委員	やってない。
笹田委員	やってないですね。
小川委員長	議会報告は要りませんか、全く無しで良いですか。
田畑委員	地域井戸端会という形で……。
小川委員長	議会から報告しなくても良いかな。
笹田委員	テーマを決めるくらいは。決算は認定しようが何しようが関係ないのだから。
小川委員長	前段で何かあった方が良くかなと思ったのですが。
笹田委員	前々回もやってないですよ。
澁谷委員	何を報告するかも難しいからね。
小川委員長	そうですね。
田畑委員	この前の議会報告会で、例えば人数の多かった旭や美川になると、あのくらい人が来てやるのが一番良いのだけど、10人前後でぶいぶいやった方が良いと思う。活発な意見が出るし。少なければ少ないで、また出ないし。
小川委員長	部屋が分けられる所はきちんと仕切りをしてから、双方の声が聞こえないように。最初から複数の部屋を借りられれば良いですが。
近重書記	今色々な意見が出ましたが、複数の部屋が要るのではないかという意見について。単純にものすごく広いから一部屋で済む所と、複数要る所があると思います。通路を挟んで別部屋を取らないと大変だというのはありますか。
村武委員	前回、旭支所の会場は2つに分かれたのですが、かなり大人数だったので結構聞こえる……。
田畑委員	別にしないと駄目だ、美川と。
小川委員長	美川は仕切りがしてありますからね。
笹田委員	石見はワンフロアですね。
澁谷委員	今まではワンフロアだけど、動員の仕方を検討せよというのが議会改革の中でも、議会改革で先日視察に行った所でも、各町内会の役員さんに案

	内するとか、もっと他の所は全部の家にあった自治体もあったでしょう。だから声の掛け方ももう少し考えて、浜田市内もという感じがしないでもない。そうすれば今まで10人だった所が、20人30人になる可能性が無いことも無いかなと。
芦谷委員	それ考えましょうよ、案内の仕方を。
村武委員	例えば二部屋にするとしても、最初から二部屋にするのか、最初は一部屋だけど分かれるのか。
澁谷委員	最初は一部屋で、委員長に挨拶してもらわないと。
村武委員	ですよね。そこの辺の進め方も考えないといけない。
笹田委員	前は離してやりましたよね。広い所は。その時は大丈夫でしたけどね。今回美川などは近かったから、衝突があると大分違うのでしょうか。あれを、もし3か所となったら困りますよ。
澁谷委員	あとテーマをどうするかだね。
近重書記	27年度はテーマ設定をしました。28年度は無し。
澁谷委員	テーマを絞ったら意見が出難いからと、好きなようにしているけど、好きなようにすると要望や意見を聞いて帰って、執行部に聞きますからということになります。執行権が無いから予算が付けられませんか。
小川委員長	小さな拠点づくりの研修会もあったりするし、今度の自治区制度の見直しもあったりする。自治区によってはテーマとなるのではないかという支所長からの意見もありました。それ以外の細かい部分で言うと、どこでも共通している農地荒廃問題、空き家対策、人口減少、高齢化対策、この辺りでどうだろうかというのは、政府がテーマとしてきたことですが。
芦谷委員	前回やった報告会のことがこれに出るので、これを配って、前回はこうでしたというのを少し丁寧に説明してあげれば、共通理解がされればこの中から派生しても良いし、地区独自のテーマでも良いし、あとは班に任せないと思うのだけだね、あまり決めてかかっても。私の提案は、議会だよりの中の前回報告会の部分を丁寧に説明し、共通理解をしてから進めればと思います。
川上副委員長	このページをコピーして行って……。
芦谷委員	いえ、そのままで良いと思いますよ。
澁谷委員	私は、テーマ以外も受け付けられないわけではないけど、一応3つくらいに絞ってからにした方が、形としては良いかなと。何でも良いから意見を言ってくださいというのは、主体性がない感じ。
笹田委員	前は各地域二つくらい考えていったのですよ。ただ、各地域でやるとなかなか難しい面があったのは確かです。

澁谷委員	支所からまず提案してもらうとか。
笹田委員	前はそうしました。旧那賀郡に行くと結局、中山間地域の問題になるのです。
澁谷委員	旧郡部は「絶対要る」と言うし、浜田自治区の者は「やめてしまえ」と言うのが、はっきり言ってもう分かっている。
笹田委員	難しいテーマではなく、簡単なテーマを考えてあげた方が良いです。自治区制度をどう思いますかとか、耕作放棄地をどうしましょうかとか、そういう難しい問題ではなくて、もっと楽しげなテーマを作って。この地域ではどうやって子供を喜ばせますかとか。
澁谷委員	地域の祭りの継承の仕方とか、伝承とか、そういうのはあるかもしれない。田囃子を継承している所もあるだろうし。
小川委員長	中山間の特別委員会の項目になる内容もあるかもしれないですね。
笹田委員	逆に、テーマを決めたら面白くなさそうだから行かない、という人も出てきますよね。何か物が言えるから行ってやろうという人もいらっしゃるから。
澁谷委員	井戸端会ばかりやると、ファシリテーターの意見の組み立て方で全然違うのだよね。各班にそれなりのファシリテーターが出来る人が何人も居れば良いけど。この前みたいに市の職員ばかり来てもらっても、というのもあるしね。
小川委員長	旭は半分以上が市の職員さんだった。あれはどうだろうかと。
笹田委員	でもあれはあれで良かったです。その場で答えを出してもらえたこともあったから、悪くはないと思いました。でもそういう会ではないなと思いながらやっていましたけど。
田畑委員	職員だからお前は帰って良いというわけにはいかない。
澁谷委員	市民の発言権を確保してあげれば良いけど、うちの所では最後に市民の方が怒って終わったからね。「なにを職員にばかり聞いているのだ」と。あの辺を上手にしないといけない。
川上副委員長	テーマについては、いくつか作ってきましょうか。
笹田委員	そうですね。
小川委員長	楽しそうなテーマにというのはなかなか難しいな。
笹田委員	来やすいようなテーマで。
田畑委員	地区によってテーマは皆それぞれ違うだろう。
川上副委員長	だから自治区ごとにもう一度確認してもらって……。
田畑委員	会場ごとだ。
川上副委員長	会場ごとか。確認させてもらう。

小川委員長	支所に聞いても、やはり硬いのですよね。金城に聞くと、今福で開催なら広浜線の活用の仕方とか。支所長に聞くとそうなる。三隅で言うと、やはり自治区制度でしょうかね、と言われればそれ以上出てこない。
田畑委員	委員長、検討してみているよ。
澁谷委員	それで今後のスケジュールを各班に投げかけして、説明する。9月議会には説明しないと、10月開催だから。それで各班で決定してくださいと。うちの委員会でもこういう原案を用意はしていますが、内容については各班で精査してくださいと。何も無いままやってくれと言っても困るだろうから。持っていく方。
川上副委員長	広報テーマについては案を作っておいて、各班に投げかけて、お任せしますからこれでよろしくと。
澁谷委員	強制するわけではないけど、各班で検討してもらおう。
三浦委員	井戸端会は、どうなったら成功とお考えですか。
澁谷委員	三浦さんがファシリテーターをしてくれれば、皆成功するよ。
三浦委員	色んな人がとにかく自分の意見を言えたということが大事だったら、テーマを決めるよりは自由に個人の興味を基に語れるように、ある程度幅を持たせて、子育てとか、地域活動とか、地域資源とか、いくつかテーマを作っておいて、促しながら好きに言わせるというのも一つアリだとは思いますが、ある程度この井戸端会を通じて市民がこれについてこう思っていること、引き出したいことがいくつかあるのであれば、テーマは絞った方が良いでしょう。そうするとそれについて、こちらもかなり情報を持っていかなければ、なかなか議論にもならないかなと。市民の方もしっかり情報収集している方がおられると、消化不良になって帰る可能性もあるので、とにかく「言った・伝えた」という場づくりをするのであれば、テーマは幅広く持っていて良いのかなと私は思うのですが。
笹田委員	カードは面白いかもしれない。
三浦委員	あまり広げさせないようにする、という意味でも、何項目か作っておくのが。
澁谷委員	各班の他の議員に説明が出来れば一番良い。
川上副委員長	もう1回ここへ来て話そうか、という人が来れば一番良いと思います。面白かったねまたやろうよ、と言われたのが一番良かった。
笹田委員	最後皆笑顔で帰れば成功ですよ。「今日はよく言った」と。
三浦委員	答えを出すと、そう思っていない人はそこに来づらくなったりするので、「あの人はこう思っていたのか、でも自分はこう思う」というのが分かることくらいをゴールにしておかないと。

笹田委員	否定も肯定もしないで。
三浦委員	そう、否定してはいけないというやり方で、とにかく引き出すことを意識してやる。
澁谷委員	基本的には議員と市民の距離が近づいて、議会活動に声が出にくい姿勢があって住民福祉に繋がっていけば良いけど、そういう流れが……今までは「とにかくやらねばならない」「2回はやろう」という義務的な感じで。他の所の話を聞いても、だんだん参加者の人数が減っている。
笹田委員	最近は結構、一般質問や委員会で取り上げることが増えているので、プラスにはなっていると思いますが。
澁谷委員	そういうことで市民の人に満足感を持ってもらえればね。自分の意見が取り上げて貰えた。
三浦委員	行って良かったという満足感がないと、次も来ないでしょうし。
笹田委員	前回の美川は、先日の報告会で聞いて、一般質問でやらせてもらったのですが、あのようにすると来てくれる人が増えるのかなと。
澁谷委員	美川は今回人数が増えたでしょう。僕が去年だか一昨年だかに行った時には4、5人しか居なかった。だから声をかける仕組みを何か変えたのだと思う。
笹田委員	地域で子どもが減ってきているから、人口を増やす協議会のようなものを作ってやっておられて、そういう形で盛り上がってきている。
澁谷委員	それか、まちづくり委員会の声がかかって来られたのか。ニーズが高まれば人も来るだろう。
笹田委員	本当にそう思います。あまり課題がない所では人は来ないので。長浜や周布など。
小川委員長	テーマはこちらで作ったりしながら、進め方の骨子みたいなものも作ってみて、最終的には各班ごとで煮詰めてもらったりするために、その敲き台くらいは作るということで。もし皆さんが発言しやすいテーマがあればいくらかは準備したいと思います。ご意見等がありましたらお願いします。ただ、まだ時間があるのでその辺りの案は練っていききたいと思います。 開催時期と会場担当班については、先ほどのとおりで確認をお願いします。場所だけ入れ替わりです。

《 以下自由討議 》

小川委員長	テーマと進行方法についてですが、カフェ方式というやり方で、場所によっては「その方式なら私は帰る」と言われた地区もあるそうです。どち
-------	---

らにしても意見交換のやり方なので、どういう形でやるかですが。

井戸端会については先ほど来の議論で、目的や方向性については色々議論されたことを踏まえてやっていきたいと思います。一応、次回までにはその辺を検討しておきたいと思います。

あと、報告書を毎回作ってもらうのですが、見本にされるものが皆それぞれ違うのかもしれませんが、バラバラなので、少し様式をまとめた方が良くかなと。

近重書記 当日出た物、更に例えば執行部に照会したい事項みたいなものを設けていたら、今回も執行部に何を出すか結構揉めたので、どうかなと。

小川委員長 まとめ方というか、こういう案件でこのようにまとめようと、その辺も少し検討させていただきます。

近重書記 今回作られた方もいらっしゃるので、これがある程度、全班統一出来ていれば良いなというのがあれば。

小川委員長 今回は出された意見をそのまま箇条書きにして出した形だけど、その中で執行部に聞くのはどれにしようとか。その辺ももしご意見があればまた考えておいていただきたいと思います。

澁谷委員 今の流れで言えばどうなるのかな。9月議会の最終日の全協で委員長が説明するの、初日の全協で説明するの。

近重書記 10月の……実施についてですよね。次回の……。

田畑委員 それまで班長さんに言うだけ言っておかないと。

澁谷委員 この日程は皆分かっているだろうから、だからこのスケジュールを正副委員長で検討してもらって。流れを。

近重書記 班長も変更なしで良いですかね。

澁谷委員 来年は変えた方が良くよ、ちょっと問題のある班もあるし。しゃべる人間が一杯いる班もあるし、うちの班みたいに。バランス良く考えて。

小川委員長 では井戸端会についてはそういうことで、あとは正副と事務局とで。

3. その他

その他、皆さんからありますか。

笹田委員 今回6月議会で修正動議をかけて、最後に賛否を書きますよね。あの時に篠原次長が言ったのですが、賛否の公開については修正動議については書かなくて良いという話でしたが、そういったことはうちで決めるべきだと思うのですよ。議案だけの賛否を公開するのではなく、修正動議が出た時にその修正動議に何故反対したのか、何故賛成したのかは、書いて市民にしっかりお示しするべきだと思うのですが、今回それが無かったですよ

	ね。そういった意味では、広報広聴委員会としてそういった所もしっかり公表すべきだという意志は必要ではないかと私は思います。賛成にしても反対にしても、議員の意志を市民に公表する意味では必要ではないかと思うのですが。
澁谷委員	今までは、賛成は公表してないのよね。
笹田委員	反対は書いて。今回は動議に対しての反対は書かなくて良かったのです。
澁谷委員	本当なら全部書くべきなのかもしれないし、修正も当然書かないといけない。その辺を統一していないね。
笹田委員	あれ別にルールではないですものね。載せるか載せないかはもちろん匙加減ひとつですけど。あれはやはり載せるべきだと思います。反対については。賛成は異議が無いから賛成で終わりますけど。反対についての理由は重いと思うので。
澁谷委員	修正については、両方書いた方が良いという意見だね。
笹田委員	反対する人は反対を、理由はこれだから反対したということが必要だと思う。
澁谷委員	修正の時の反対は書かなくて良かったの。
笹田委員	はい。
澁谷委員	何故。今までずっと反対理由は書いてきたじゃないの。
篠原次長	修正が出たということは、原案に対しては反対だということですよね。原案に対しては反対だから、原案の所に反対理由を書いてもらえば良いという判断を、あの時はしていました。
笹田委員	それではあまり意味がないですよ。修正動議にかけて修正に対しても採決しているわけです。採決の時に反対した理由は、載せるべきだと私は思っ て提案したのですが、その時は良いと言われたので。 今回ここでしっかりやってルール決めした方が良いかなと思ったので。 修正動議が出るくらいだから、議員としてしっかり考えたということを示さないといけないと思う。
小川委員長	必要かなと思って書いていたけど、書かなくて良いと言われたので止めたのだけど。修正案に対する反対意見ね。
笹田委員	僕らは予算に対して反対したから、予算に対する反対理由は書いた。ホームページには出ます。事務局が決めることでもなしうちらが委員会として決めて……。
澁谷委員	議会の発展を考えているというよりは、何となく楽な方向へ流れている感じがするから。
笹田委員	これが、ここで解決するものか、議運にまでかけてやるべきなのか、と

	いうことはしっかり。
澁谷委員	ここは常任委員会だから、最後は議運で決めるという形式にはなるけど。
小川委員長	反対意見を出すなら、修正案に対しても反対意見は載せるべきではないかと思います。
笹田委員	採決した分に関しては、反対する議員としての重みもあるだろうし、賛成するにしても……。
小川委員長	初めてのことなので、これをきっかけに議論してもらって、考えてもらった方が良くもしいない。
笹田委員	皆さんがどう思われるかなと思って。
小川委員長	私はやった方が良くと思う。
	(「そうだ」という声あり)
	広報広聴とすれば、出すべきだということ。
篠原次長	修正案に対する反対意見ですね。
小川委員長	修正案に対しても、です。反対意見については反対理由をきちんと載せるべきではないかということについて。
笹田委員	採決するじゃないですか。
篠原次長	すごい数になります。
澁谷委員	それは良い。
小川委員長	広報としては、やるべきではないかという意見で全会一致でした、ということ
	を議運に渡すのかな。
	(「はい」という声あり)
澁谷委員	事務局は分かっているから、今度の議運の際に上がってくる。
小川委員長	他にその他ございますか。
	(「なし」という声あり)
	長時間に渡って大変ご苦勞様でした。広報広聴調査会を終わらせていただきます。

[12時 27分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏